

式 辞

本日ここに、ご来賓並びに多くの関係者各位のご臨席のもと、公立浜坂病院創立五十周年記念式典を挙げてまいりますことは、まことに光栄であり、慶賀に堪えないところでございます。新温泉町議会議長様をはじめ、ご来賓各位にはご多用中にもかかわらず、わたくしどものためにご光臨賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、当院の歴史を顧みますと、その前身は公立豊岡病院組合浜坂分院として昭和三十三年に現在の新温泉町役場である場所に開設されました。その後、昭和四十六年四月には医師引き上げにより一旦休診となりましたが、同年九月に診療を再開、昭和四十八年四月豊岡病院組合から独立し、同年五月に七十

五床の町立病院として発足し、本年で五十周年を迎えました。初代院長には故・岸本勝安先生が就任され、昭和四十八年六月から内科、外科で診療が開始されました。

昭和五十七年十二月には「健康づくりの里構想」の福祉ゾーンエリアである現在地に新築移転し、病床数百十床、内科、外科、整形外科、産婦人科を持つ、地域の中核病院として診療を開始してまいりました。平成二年九月には、台風十九号で一階が百二十センチの浸水被害を受け、一時診療休止に追い込まれましたが、平成三年一月から全面再開へという苦難を乗り越えてまいりました。そして、平成十年十月には八十床の老人保健施設ささゆりと訪問看護ステーションが開設され、地域包括ケアシステム機能を持つエリアが誕生し、本年で二十五周年を迎えました。

一方で、平成十七年十月には、温泉町と浜坂町が合併し新温泉町立の病院としてスタートしましたが、平成十六年の新医師臨床研修制度に伴い、大学医局派遣医師の引き揚げで医師確保が困難となり、平成十八年には病床数を半分の五十五床に減少せざるを得なくなりました。その後、平成三十年からは地域包括ケア病床十六床を取り入れ、超高齢化が進む町内唯一の一般病床を持つ病院として、「総合診療」「予防医学」「在宅医療」を三本柱に、四十九床での運用を行ってまいりました。そして、令和五年からは、在宅療養患者の支援機能を持った病院である「在宅療養支援病院」として承認されました。

このような幾多の変遷を経て、五十周年を迎えることができましたことは、わたくしどもにとって大いなる喜びであると同時に、これまでご支援いただきました地域の皆様へ報いるべく、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮

らしていけるための医療を提供していけるよう、病院理念であります「信頼される病院」「患者中心の医療」「地域への貢献」「職員の自己研鑽」を念頭に、日々心をあらたに精進していく所存であります。

結びにあたり、本日御列席賜りましたご来賓並びに関係各位のご多幸とご健勝を祈念するとともに、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、式辞といたします。

令和五年十一月二十六日

公立浜坂病院

院長 高木一光